第8期東郷町高齢者福祉計画(案)に係る意見募集結果

案件名 第8期東郷町高齢者福祉計画(案)

募集期間 令和3年1月5日 (火曜日) から令和3年1月25日 (月曜日) まで

意見 2名 6件

番号	意見の概要	町の考え方
1	国は、介護総合事業から地域共生、重層的 支援に移行してきた。しかし、我が町は、介 護総合事業が、全国同じスタートを切ったの に、出遅れた。職員の異動や地域の支え合い やボランティアなど地域のまちづくりにも 出遅れている。そこに国は、地域共生、重層 的支援というますます、命、暮らしは、地域 の中で支えあい、助け合い、介護支援という。 近隣の市では、2025・2040年に備えて構築って いないのではないか。町づくりや人づくり は、時間がかかる。職員の異動と共に引継ぎ もそれぞれ。その中で、国の方向性やデコスト だけでない市民力、地域力を育てるというこ とが苦手。 今回の福祉計画は、第7期の評価と課題に ついて、具体的に何をどのように改善し、具 体的に高齢者の命を守れる回答はない。	基本目標 2 「高齢者が安心して地域で暮らす体制づくり」に掲げたように、地域のボランティア等と支援を必要とする高齢者の利用調整(マッチング)を行う地域支え合いコーディネーターの配置や高齢者支援の担い手である生活支援サポーターを始めとした各種サポーターの養成を通して市民力、地域力を育てていきます。第7期計画の評価と課題を踏まえた第8期計画の方向性及び具体的な取組については、「第3章計画の基本的な考え方」及び「第4章 具体的な取組方針」に記載しています。
2	パブリックコメントを実施するにあたり 意見の募集のための努力はどうであったか。 広報やホームページだけでなく紙媒体の資 料も欲しい。	パブリックコメント実施における紙媒体の設置については高齢者支援課の窓口及び町政資料 コーナーに設置しました。

番号	意見の概要	町の考え方
3	総合計画の策定の中でも、福祉、地域共生、重層的支援についても、あまり重きをおいていない。暮らし丸ごと福祉であり、今まで東郷町を支えてきた高齢者を支えていくことが、大切だと考える。おはようなど挨拶だけでも、人はつながる。住民と共に一緒のテーブルで考えることが、町民自身も自分事として考えることの第一歩と考える。ただし、いつもはじめの一歩は進めるのだけれども、それっきりも多い。様々な各課が、どれだけ連携できるのかも、コストダウンや費用対効果にもつながるのではないか。高齢者お一人ずつの声をいかに聞くことができるかがキーワードです。	上位計画である「第1次東郷町地域福祉計画」では、地域のつながりや支え合いを含めた地域共生社会の実現を目指すために目標や取組を掲げています。 本計画においては基本目標2に掲げたように、地域支え合いコーディネーターが住民主体の集いの場の立ち上げに関わる機会等を通して、町民自身が地域の課題を自分事として考える事の第一歩とし、その取組を継続していきます。 各課の連携については、重点目標1「地域包括ケアシステムの深化と推進」に掲げたように、高齢者施策を充実させるため、行政の関係部局の連携を更に深められるよう、定期的に保健・医療・福祉等の関係者が集い、情報交換を行います。また、各部局で行う施策について様々な視点で情報共有し、効果的に連携できる体制を整えていきます。
4	介護保険料について具体的な提示がありません。町民の一番関心の高い介護保険料について詳細な説明を示していただきたい。給付費については詳細が出されており、その原資である保険料について提示がないのは意図的な対応のように考えられます。	今回、給付費については、計画の内容を分かりやすくするため、介護報酬改定前の額を 目安として記載しましたが、保険料について は、報酬改定後の給付費をもとに、所得段階 の多段階化も含めて検討するため記載をし ませんでした。
5	今の保険料は、低所得者にとって大変負担が 大きく、町長の公約にあるように引き下げる計 画を示してください。	年々、給付費は増加傾向にあるため、介護 保険料基準額及び所得段階別介護保険料に ついては、全体のバランスを見ながら設定し ます。
6	低所得者の負担軽減と共に、保険料段階の一層の多段階化を求めるとともに、最高段階の倍率強化による応能負担の強化が必要と考えます。	年々、給付費は増加傾向にあるため、介護 保険料基準額及び所得段階別介護保険料に ついては、低所得者だけでなく全体のバラン スを見ながら設定します。